

中心児報

発行日：2023（令和5）年9月24日

発行：社会福祉法人 中心会

児童養護施設 中心子どもの家

相模原市中央区田名10125

TEL：042-764-7046

URL <http://kodomo.chusinkai.net/>

Email kodomonoie@chusinkai.jp

発行責任：所長 丹 清



「真心に育つ」 創設者 常岡一郎 揮毫

新潟県川谷の皆さん、安部さん、藤野元所長、ありがとうございました！

所長 丹 清

8月19日～22日、当施設の「光の家」ユニットと「大地の家」ユニットの子ども・職員総勢約30名は、新潟県上越市吉川区川谷で自然体験などを楽しみました。このイベントは今から19年前から始まりました。当時、本法人の評議員をされていた安部幸雄さんが現地の方とのご縁を紹介して下さり、当時の当施設の藤野所長が「田舎での自然体験や現地の方との交流は、子ども達の心の成長に非常に役立つ」と意気投合したことが発端です。

昨年までの3年間はコロナ禍で中止にしました。今回は久々の川谷訪問で、子どもも職員も大いに楽しむことができました。何より、現地の方々と一緒ににおにぎりを作ったりなど、現地の方々とのふれあいに意味があったと思います。

特筆すべきことは、皆より1日早く現地に入り、流しそうめんのための竹を採取したり（右の写真）、キャンプファイヤーの準備等をしてくれた男子中高生のメンバーの地味で力強い活躍でした。一緒に参加された安部さんから「今年のメンバーは、特によく働く」と称賛を頂きました。



皆さんも興味がありましたら、川谷に行ってみてはいかがでしょうか。「川谷簡易郵便局」とカーナビで検索すると行けます。

生活の様子

新型コロナウイルス感染症が5類になって初めての夏休み。久しぶりに外出の多い夏休みとなり、子ども・職員一同、楽しく過ごしました。

夏休みにカラオケ外出に行きました。子どもたちは日頃から歌番組を見たり、アニメの主題歌を楽しそうに歌ったりする姿があり、カラオケ店に行ったことがない児童も多いことから、カラオケで歌うという体験を企画しました。最初は恥ずかしくて歌えない子もいましたが、最後は誰もが知っているアニメの主題歌をみんなで楽しそうに歌っている様子見れました。

残念なことに、カメラを持って行くのを忘れてしまい楽しそうな姿を写真に残せなかったのが心残りです。

(心の家)



今日は調理員が花の家の子ども達と一緒にたまごサンドイッチとフルーツサンドイッチを作る日でした。

メニューは内緒にしていたので、調理員がユニットに行くと、「今日はなに作るの?」とたくさんの女の子達が興味津々な様子で話しかけてきました。たまごサンドとフルーツサンドを作ることを伝えると、積極的にお手伝いをしてくれました。幼児さんがゆで玉子を潰したり、中学生が果物を切ったり、各々準備を進めていきます。

具材の準備が整ったら、サンドイッチ作り開始!綺麗に作ろうとする子もいれば、食べられればなんでもオッケー!という子もいて、個性豊かなサンドイッチができていました。フルーツサンドイッチを作る時も「生クリームを絞るのって女の子の夢だよね~」「果物はどれをいれようかな~!」と言いながら楽しんでいました。

普段の食事は調理室で作っているので、子ども達の反応を直接見ることができないのですが、今回は子ども達が楽しみながらサンドイッチを食べている様子が見れてとても良かったと思いました。(給食課)

今年は数年ぶりに自治会の夏祭りが開催されました。子どもたちはお昼頃からお神輿に参加しました。夕方、お神輿が終わると、女の子たちは大急ぎで浴衣に着替え、夜のお祭りに参加していました。



着付けは、更生保護女性会の皆様にご協力いただきました。帯をかわいく結んでくださって、子どもたちも顔が綻んでおりました。



園庭では、毎年恒例の虫取りが毎日行われた夏休み。夏休み中に捕まえた虫を写真に収め、1冊のファイルにまとめました。

表紙の絵を描いてくれたのは、虫取り大好きな小3・小4の男の子たちです。好きな昆虫から描き始めていましたが、気づけば海の生き物も描いてあり、二人の「好き」が詰め込まれた仕上がりとなりました。



8月9日にコロナが始まってから久しぶりの大きなプール外出に出掛けました。目的地は辻堂海浜公園ジャンボプール。向かう道中、マクドナルドに寄り、昼食を食べました。店内で食べるのも久しぶりの経験でした。

プールに着くと急に土砂降りの雨が降り始めましたが、少し待つと雨は止み、過ごしやすい曇り空になりました。着替えて待ちきれない子どもが多い中、しっかりと準備体操を終えてそれぞれが入りたいプールに向かって行きました。流れるプールに波のプール、スライダーも全て楽しんで大満足そうでした。

いっぱい遊んで疲れ切ったのか、帰りの車の中は眠ってしまっている子どもが多かったです。子ども達の笑顔を見ていると、とても素晴らしい一日になったのではないかと思います。(花の家)



数年ぶりに、新潟へキャンプへ行きました。今年は光の家、大地の家がキャンプに行きました。この数年間の間に、職員も入れ替わりがあり、ほぼ初めて参加の職員ばかりで準備も慌ただしくなりましたが、様々な方のご協力のもと、大きな怪我なく、楽しく過ごしてきました。



写真を撮ったよ!

子どもたちから写真を撮りたいと話があったり、子どもたちにお願ひしたり。子どもたちが撮った写真をちょっと紹介します!

遡って5月末。今年もポニーがやってきてくれました。

ポニーと直接触れ合うことはせず写真を撮りたいという小学生の女の子に、写真を撮ってもらいました。なかなかよく撮れていませんか?



撮影：小5女児

夏休みに捕まえた昆虫の写真を撮影していたため、9月のある日見つけたアゲハチョウの幼虫の写真を撮りたいという子がいました。

幼虫を枝の端に乗せていたため、ピントがうまく合わず、職員と共に苦戦していましたが、こうすればいいんだと枝を置き、きれいに撮ることができました。



撮影：小6男児

HOME 活動報告

Happy …幸せを感じられるように
One …全員がひとつになって
More …もっと上を目指して
Enjoy …楽しく生活できるように

HOME とは、中心子どもの家の子どもと職員が一体となって取り組んでいる「安全・安心な暮らし」をめざす活動です。

子どもたちは普段の縦割り年齢の生活集団単位ではなく、幼児、小学生、中学生、高校生という横割りの集団になり、「安全・安心な暮らし」に向けて自分たちができることを考え、年間通して取り組んでいます。



夏休みには、普段はなかなか時間が合わなくてできない、部会のメンバー同士の団結力を高めたり交流したりといった目的の活動を取り入れています。



夏休み最後に幼児部会で集まり、あいかわ公園に行きました。幼児部会で今年度初めての外出でしたが、子どもたち全員で、気を付けることなどのお約束をしっかり確認し、怪我なく楽しく遊べました。公園では、一生懸命アスレチックにチャレンジしたり、噴水で無邪気に楽しんだりしている姿が印象的でした。(幼児部会)

高校生部会では、夏休みに幼児部会や小学生部会とコラボして何か企画できないかと意見が出ました。最終的にまとまった案は、小学生部会と一緒に洗車&水遊びデーの開催。いざ当日、集まったのは小学生に限らずほぼ全児童が参加してくれました。明確に役割分担や指示を出さずとも、高校生が周りを見ながら動いてくれる様子がありました。



水遊びには参加しないという高校生は写真撮影を行なっており、陰ながらサポートしてくれていました。

撮影：高1女子



ご寄附お礼

【2023年4月～8月】

土屋 博文 様、有限会社 第一タヤセンター 代表取締役 熊谷 敏博 様、山本 昭彦 様、増山 敬太様、伊達 直子 様、相模原中央地区更生保護女性会 様、WFWP さがみはら 金澤 静子 様、山岸 敏子 様、ニラク海老名 本郷店 様、(株)ザ・シティ相模大野店 様、マルハン橋本台店 様、三光工芸社 代表取締役 貝塚 豊 様、深津 重光 様、鈴木 豊 様、山口 すず夏 様、NPO 法人デジタルコンテンツ研究会 様、池田 正憲 様、株式会社 チュチュアンナ 1%クラブ 様、株式会社 スマイル 様、株式会社 地球ファミリー 様、小原 成人 様、長谷川 貴美子 様、橋本 茂美 様、相模原ローターアクトクラブ 様、田所 俊夫 様、公益社団法人 生命保険ファインシヤルアドバイザー協会 様、会田 吉美 様、株式会社 インタージャック 代表取締役 佐藤 善彦 様、株式会社 三景 代表取締役 角谷 豊人 様、丸福工業 株式会社 代表取締役 福井 彩子 様、公益財団法人 日本漢字能力検定協会 様、栗原 範子 様、チャンピオン田名 様、石澤 誠一 様、株式会社 スマイル 代表取締役 井上 廣一 様、タケダリカ 様、りつの本医院 院長 立之 英世 様、匿名4名 様

熱いご支援ありがとうございました。